

報道関係者 各位

2025年8月19日

取材のお願い

愛媛県では希少な“絵本専門士”が本学出身者から誕生！ 社会人学生として学びを深めた2名が学長に報告

松山東雲女子大学では、子どもと絵本の豊かな関わりを支える人材育成のため、「認定絵本士」の養成講座を開講しています。このたび本講座を受講した2名（社会人入学の森 氏、科目等履修生の清水 氏）が、実務経験を経てさらに高度な資格である「絵本専門士」に認定されました。本学出身者からの絵本専門士の誕生は初めてであり、愛媛県でも数少ない貴重な人材です。これを記念し、学長への報告会を開催します。

日 時：2025年8月27日（水）16：30～17：30

場 所：本学 学長室

報告者：森 真理 氏（認定こども園 小羊園 園長）（2022年3月 子ども専攻 卒業）

清水秀子 氏（さくら児童クラブ）（2021年9月 履修修了）

出席者：水代 仁 学長、 講座担当 影浦 紀子 准教授（松山東雲女子大学 子ども専攻）

◆ 認定絵本士・絵本専門士とは

「認定絵本士」は、大学・短大・専門学校などで開講されている養成講座を受講し、所定の単位を取得することで得られる称号です。講座では、絵本の歴史や種類、発達段階に応じた選び方、読み聞かせの技術などを学び、地域や職場で絵本の魅力を伝える役割が期待されています。

一方「絵本専門士」は、認定絵本士として一定の実務経験を積んだ後、国立青少年教育振興機構が実施する専門的な養成講座を受講・修了し、認定される資格です。より高度な知識や技能、感性が求められ、子どもの読書支援や絵本の普及活動を担うエキスパートとして位置づけられています。

愛媛県の「絵本専門士」認定者は令和7年6月現在で、今回の2名を含めて10名です。（国立青少年教育振興機構 HPより）地域において非常に貴重な存在です。

◆ 絵本の大切さがいま見直されています

デジタル化が進む現代社会において、絵本の読み聞かせは子どもの「聞く力」や「想像力」、そして「心の成長」に深く関わる営みとして改めて注目されています。保護者と子どもが絵本を通じて心を通わせる時間は、非認知能力の発達や愛着形成にも良い影響を与えると言われており、絵本を介した支援の重要性が増しています。



◆ 本学の取り組み

本学では、認定絵本土養成講座を通じて、地域の子育て支援に関わる人材の育成に取り組んでいます。修了生は地域での読み聞かせ会に多数参加しており、TSUTAYA BOOK STORE重信店やエミフルMASAKI店での定期的な活動に加え、今後は10月より伊予鉄高島屋での実施も予定されています。絵本を通じて子どもたちの育ちを支えるこれらの取り組みは、少子化や子育て支援といった社会課題の解決にもつながるものです。

また、「松山東雲学園こどもセンター」では、絵本や紙芝居を通じた学びの機会を地域に広げる活動も継続しています。今年1月には、絵本専門士の渡部 愛さんを講師に迎えた講演会を開催し、子育て中の方や支援者、絵本ファンなど幅広い方々にご参加いただきました（4回目の開催）。

今後も本学では、絵本を通して地域と連携し、子どもたちや家庭を支える社会貢献に努めてまいります。

松前町ふるさとライブラリー



TSUTAYA BOOK STORE 重信店



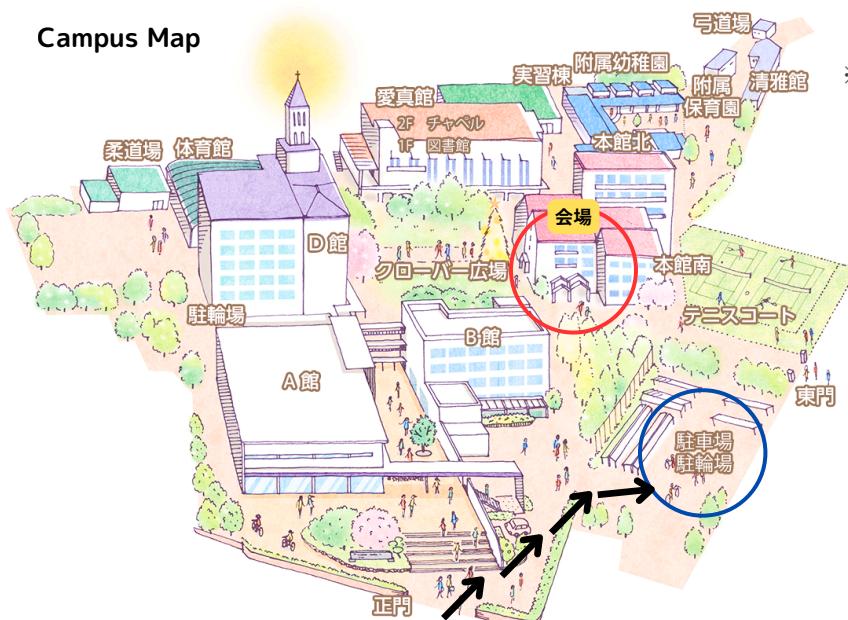
いよてつ高島屋 えほんの森



2024年度 認定絵本土 認定者



Campus Map



※ 取材の際は事前にご連絡いただけますと幸いです。

【お問い合わせ・ご連絡先】

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学
広報係

松山市桑原3丁目2-1 電話：089-931-6211(代)
Mail : kouhou@shinonome.ac.jp



https://note.com/ready_fowl3292